

5種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、ヒブ）

☆ジフテリア（D）は、口やのどに細菌がとりついて発症します。体内に広がると命にかかわることもある病気です。

☆百日せき（P）は、せきが長くつづくことが特徴の病気です。小さなお子さんがかかると命にかかわることもあります。

☆破傷風（T）は、土の中にいる菌が傷口から入って発症し、病気が進むと体内の筋肉がかたくなってしまいます。重くなると息ができなくなり、命にかかわることもあります。

☆ポリオ（IPV）は、便を通じて感染する病気で、手や足が動かせなくなり、場合によっては一生続くことがあります。

☆ヒブ（Hib）に感染すると肺炎、細菌性髄膜炎（脳を包んでいる膜の炎症）、菌血症（菌が血液に入り高熱が出る）、喉頭蓋炎（のどの奥がはれて息ができなくなってしまうことがある）などを引き起こすことがあります。

☆5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hibワクチン）を接種することで、体のなかにジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブへの抵抗力（免疫）ができます。

☆このワクチンは生後2か月になってから接種し始めます。

☆5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hibワクチン）は不活化ワクチンです。

■予防接種の受け方

— いつ受けるの？ —

接種年齢 生後2か月以上7歳6か月未満
（標準的な接種年齢：1期初回の開始が生後2か月以上7か月未満）

— どこで？ —

福島市登録医療機関に予約してください

— 持っていくものは？ —

母子健康手帳、5種混合予防接種予診票、
子ども医療費受給資格者証など

回数と間隔は？

1期初回1回目（生後2か月以上）

↓ 1回目から20日以上あける
（標準的な接種間隔：20～56日）

1期初回2回目

↓ 2回目から20日以上あける
（標準的な接種間隔：20～56日）

1期初回3回目

↓ 3回目から6か月以上あける
（標準的な接種間隔：3回目から6か月以上18か月未満）

1期追加

↓ **2種混合（ジフテリア・破傷風）2期**（11歳以上13歳未満）
小学6年生で通知します

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- 5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hibワクチン）を接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたりすることがあります。
- 熱がでたり、おなかをこわしたりするほか、ぶつぶつができたり、のどが赤くなることもあります。
- きわめてまれに、アナフィラキシー（急激なアレルギー反応）やけいれん、血小板減少性紫斑病（かさぶたをつくる働きの血小板が少なくなって、出血しやすくなる）、脳炎などの重い症状があらわれることがあります。

○予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種医に相談してください。

